

参考資料

	ページ
実績編	
・ 連結 主要決算数値（12年度 対 11年度）	1
連結会社別・セグメント別売上高内訳	2
連結資産構成変化（12年9月末 対 12年3月末）	3
・ 個別 主要決算数値（12年度 対 11年度）	4
営業主要計数 内訳（12年度 対 11年度）	5
主要決算数値（12年度 対 7/31見通し）	6
営業主要計数 内訳（12年度 対 7/31見通し）	7
見通し編	
・ 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度	8
・ 連結 主要決算数値（今回見通し 対 7/31見通し）	9
・ 個別 主要決算数値（今回見通し 対 7/31見通し）	10
営業主要計数内訳（今回見通し 対 7/31見通し）	11
主要決算数値（今回見通し 対 11年度）	12
営業主要計数内訳（今回見通し 対 11年度）	13
・ 連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	14

実績編

連結 主要決算数値 (12年度 対 11年度)

第2四半期実績

億円

	FY12 2Q	FY11 2Q	増減		備考
売上高	8,637	7,483	1,154	15.4%	都市ガス+739(販売量増・単価増)、その他エネルギー+236(電力+163、LNG販売+155)
営業利益	650	17	633	—	都市ガス+504、その他エネルギー+86(電力+64、LNG販売+18)
経常利益	670	19	651	—	営業外+19(専用設備料収入+26、受取配当金+9、為替レート差損益-11)
当期純利益	399	-49	448	—	関係会社株式売却益+29(29←0)、投資有価証券評価損+2(-46←-48)

総資産 ※	18,390	18,638	-248	-1.3%	流動資産-424(有価証券-440、売掛金-135、原材料+269)、有形・無形固定資産+105(設備投資 755、償却-671)、投資その他の資産+71(前払年金費用+56)
自己資本 ※	8,602	8,391	211	2.5%	当期純利益399、配当金支払-116、自己株式市場買付-49
自己資本比率 ※ (%)	46.8%	45.0%	1.8	—	総資産の減少(-1.3%)に対し、自己資本が増加(+2.5%)したため上昇
総資本回転率 (回転)	0.47	0.41	0.06	—	
有利子負債残高 ※	6,390	6,258	132	2.1%	東京ガス+208、東京ガス都市開発-80
当期純利益	399	-49	448	—	
減価償却(*2・3)	671	722	-51	-7.1%	東京ガス-31、エネルギーアドバンス-9
営業キャッシュ・フロー(*1)	1,071	672	399	59.2%	
設備投資(*2)	755	585	170	29.0%	[当期]TG 466、ENAC 56
1株当たり四半期純利益(円/株)	15.53	-1.89	17.42	—	当期純利益増(+448)により上昇
1株当たり純資産 ※ (円/株)	334.50	324.67	9.83	3.0%	

FY11 2Q数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末(2012年3月末)数値を表示(※印付き項目)

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

連結会社別・セグメント別売上高内訳表

百万円

		セグメント別外部売上高					計	外部 売上高比率	内部 売上高	単独決算 売上高
		都市ガス	器具及び工事	その他エネルギー	不動産	その他				
東京ガス(A)		559,776	63,884	66,889	0	3,452	694,002	90.3%	74,776	768,778
連結 会社 別 外部 売上 高 計	東京ガス都市開発	0	0	0	5,072	0	5,072	33.8%	9,916	14,989
	扇島パワー	0	0	7,777	0	0	7,777	24.9%	23,395	31,173
	長野都市ガス	5,388	663	0	0	0	6,052	100.0%	0	6,052
	エネルギーアドバンス	0	0	35,511	0	0	35,511	95.5%	1,681	37,192
	ガスター	0	6,345	0	0	0	6,345	43.8%	8,134	14,479
	東京エルエヌジータンカー	0	0	0	0	3,657	3,657	36.4%	6,401	10,059
	東京ガスエネルギー	151	0	10,942	0	0	11,094	75.8%	3,547	14,641
	キャプティ	0	7,181	0	0	1,110	8,292	35.2%	15,272	23,565
	東京ガスケミカル	0	0	6,749	0	0	6,749	73.7%	2,411	9,161
	千葉ガス	7,135	586	397	0	0	8,120	95.6%	374	8,494
	ティーシー情報ネットワーク	0	0	0	0	398	398	4.3%	8,798	9,197
	東京ガス・エンジニアリング	0	0	0	0	25,327	25,327	90.6%	2,620	27,947
	ニジオ	0	0	0	0	0	0	0.0%	43,348	43,348
その他	7,531	8,253	13,001	242	16,289	45,318	58.5%	32,085	77,403	
連結子会社計(B)		20,207	23,031	74,379	5,315	46,783	169,717	51.8%	157,987	327,705
連結会社合計		579,984	86,915	141,268	5,315	50,236	863,719	78.8%	232,764	1,096,484
外部売上比率		90.8%	74.0%	62.8%	32.7%	50.7%	78.8%	-	-	-
内部売上高(C)		58,996	30,507	83,511	10,917	48,831	232,764	-	232,764	-
単純合算売上高(A)+(B)+(C)		638,980	117,423	224,779	16,232	99,067	1,096,484	-	-	-

連結資産構成の変化(12年9月末 対 12年3月末)

(対前年度末比較)

億円

	2012/09末		2012/03末		増減		増減内訳
		構成比		構成比			
【資産の部】							
固定資産	13,906	75.6%	13,730	73.7%	176	1.3%	(有形・無形固定資産)設備投資755、償却-671 (投資その他の資産)前払年金費用+56、投資有価証券-36(減損による減-46、 時価評価差額による減少-39、購入による増加+72他)
流動資産	4,484	24.4%	4,908	26.3%	-424	-8.6%	有価証券-440、売掛金-135、原材料+269
資産合計	18,390	100.0%	18,638	100.0%	-248	-1.3%	

【負債の部】							
有利子負債	6,390	34.7%	6,258	33.6%	132	2.1%	(社債)第36回債発行+200、返済-200 (長期借入金)新規借入+168、返済-200 (短期借入金)+167
退職給付引当金	858	4.7%	855	4.6%	3	0.3%	
支払手形・買掛金	638	3.5%	926	5.0%	-288	-31.1%	買掛金-282
その他負債	1,718	9.3%	2,047	11.0%	-329	-16.0%	未払金・未払費用-345
負債合計	9,606	52.2%	10,087	54.1%	-481	-4.8%	
【純資産(資本)の部】							
株主資本	8,716	47.4%	8,483	45.5%	233	2.8%	(利益剰余金・自己株式)+233(四半期純利益399、配当金支払-116、 自己株式市場買付-49)
その他の包括利益累計額	-113	-0.6%	-91	-0.5%	-22	24.0%	(その他有価証券評価差額金)-28、(繰延ヘッジ損益)-23、(為替換算調整勘定)+29
少数株主持分	181	1.0%	159	0.9%	22	13.8%	
純資産(資本)合計	8,784	47.8%	8,551	45.9%	233	2.7%	自己資本比率45.0%(2012/03末)→46.8%(2012/09末)
負債・純資産(資本)合計	18,390	100.0%	18,638	100.0%	-248	-1.3%	

個別 主要決算数値(12年度 対 11年度)

第2四半期実績

	億円			
	今期	前期	増減	
総売上高	7,687	6,476	1,211	18.7%
営業利益	469	-121	590	-
経常利益	593	-44	637	-
当期純利益	374	-62	436	-

料金スライドの収支への影響

	今期	前期	増減
料金によるスライド回収	223	-442	665
原料費の増加分	187	-38	225
差し引き	36	-404	440

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今期	前期	増減
原油価格	113.97	113.93	0.04 \$/bbl
為替レート	79.41	79.75	-0.34 円/\$

	億円				
	今期	前期	増減		
製品売上高(ガス売上高)	5,880	5,134	746	14.5%	
営業費用	原材料費	3,485	3,197	288	9.0%
	(粗利)	(2,395)	(1,937)	(458)	(23.6%)
	諸給与	476	483	-7	-1.4%
	諸経費	1,112	1,113	-1	-0.1%
	減価償却費	496	524	-28	-5.5%
	LNG受託加工費	-23	-23	0	-
計	5,547	5,296	251	4.7%	
受注工事収支	-2	-7	5	-	
器具販売等収支	57	41	16	38.6%	
営業雑収支	54	34	20	59.8%	
附帯事業収支	80	5	75	1251.2%	
営業利益	469	-121	590	-	
営業外収支	124	77	47	61.5%	
経常利益	593	-44	637	-	
特別利益	0	0	0	-	
特別損失	51	48	3	-	
法人税等	167	-29	196	-	
当期純利益	374	-62	436	-	

数量・料金構成差+144億円、単価差+602億円(うち料金改定-41億円)

数量・原料構成差+77億円、単価差+211億円(為替影響=-24、油価影響=+271)

数量・構成差+67億円、単価差+391億円

給料減他

詳細は下記参照

平成19年度税制改正影響-54億円、本支管・供給設備他新規取得に伴う償却費増+26億円

新設件数増 他

器具収支 GHP増+5億円 他

電力販売+52億円、LNG販売+18億円 他

関係会社受取配当増+44億円(当期+112、前期+67) 他

諸経費

	億円			
	今期	前期	増減	
修繕費	167	171	-4	-2.1%
消耗品費	69	66	3	4.3%
賃借料	90	89	1	1.2%
委託作業費	315	313	2	0.8%
租税課金	211	203	8	3.9%
需要開発費	93	102	-9	-8.9%
その他	167	169	-2	-1.6%

本支管修繕費-5 他

事業税増+10 他

家庭用営業費-14、大口営業費+4 他

個別 営業主要計数(12年度 対 11年度)

第2四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前期	増減	
お客さま件数	10,602	10,480	122	1.2%
新設件数	89	72	17	23.1%

個別ガス販売実績

百万m3

	今期	前期	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	144.8	144.0	0.8	0.6%	気温影響-1.5m3(-1.0%)、日数差異-0.3m3(-0.2%)、その他+2.6m3(+1.8%)	
家庭用	1,293	1,273	20	1.5%	気温影響-13百万m3(-1.0%)、日数差異-2百万m3(-0.2%)、件数差+11百万m3(+0.9%)、その他増減+24百万m3(+1.8%)	
業務用	商業用	873	851	21	2.5%	
	その他用	437	425	12	2.8%	
	業務用計	1,310	1,276	34	2.6%	気温影響-4百万m3(-0.3%)、その他増減+38百万m3(+2.9%)
工業用	発電専用	1,312	1,167	145	12.4%	
	発電専用以外	1,490	1,518	-27	-1.8%	
	工業用計	2,802	2,684	118	4.4%	新規需要増 他
計	4,112	3,960	152	3.8%		
卸供給	1,026	1,022	4	0.4%	気温影響-1百万m3(-0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働増+5百万m3(+0.5%)	
合計	6,431	6,256	175	2.8%	気温影響-18百万m3(-0.3%)、発電専用+145百万m3(+2.3%)、工業用(発電専用以外)-27百万m3(-0.4%)、卸供給(気温影響除き)+5百万m3(+0.1%)、その他+70百万m3(+1.1%)	
(内大口供給)	3,416	3,294	122	3.7%		

個別 主要決算数値(12年度 対 7/31見通し)

第2四半期実績

	億円			
	今期	前回7/31	増減	
総売上高	7,687	7,640	47	0.6%
営業利益	469	380	89	23.4%
経常利益	593	510	83	16.4%
当期純利益	374	320	54	17.0%

料金スライドの収支への影響

	今期	前回7/31	増減
料金によるスライド回収	223	178	45
原料費の増加分	187	211	-24
差し引き	36	-33	69

金額は基準価格に対する増減額

経済フレーム

	今期	前回7/31	増減
原油価格	113.97	111.29	2.68 \$/bbl
為替レート	79.41	80.09	-0.68 円/\$

		億円			
		今期	前回7/31	増減	
製品売上高(ガス売上高)		5,880	5,850	30	0.5%
営業費用	原材料費	3,485	3,514	-29	-0.8%
	(粗利)	(2,395)	(2,336)	(59)	(2.5%)
	諸給与	476	482	-6	-1.1%
	諸経費	1,112	1,112	0	0.0%
	減価償却費	496	497	-1	-0.2%
	LNG受託加工費	-23	-24	1	-
計		5,547	5,581	-34	-0.6%
営業雑収支	受注工事収支	-2	-5	3	-
	器具販売等収支	57	40	17	43.7%
営業雑収支	54	35	19	57.1%	
附帯事業収支	80	76	4	6.3%	
営業利益	469	380	89	23.4%	
営業外収支	124	130	-6	-4.2%	
経常利益	593	510	83	16.4%	
特別利益	0	0	0	-	
特別損失	51	38	13	34.6%	
法人税等	167	152	15	10.1%	
当期純利益	374	320	54	17.0%	

数量・料金構成差-12億円、単価差+42億円

数量・原料構成差-1億円、単価差-28億円(為替影響=-21、油価影響=+3)

数量・構成差-11億円、単価差+70億円

出向者戻入-2億円、退職手当-2億円 他

詳細は下記参照

設備取得時期遅れに伴う償却費減他-1億円

新設件数増 他

器具収支 GHP増+8億円 他

電力販売+2億円、LNG販売+1億円、LPG販売+1億円 他

関係会社受取配当減-3億円(当期+112、前回+115) 他

投資有価証券評価損+8億円、固定資産減損損失+5億円 他

		億円			
		今期	前回7/31	増減	
修繕費	167	162	5	3.6%	
消耗品費	69	68	1	2.7%	
賃借料	90	91	-1	-0.4%	
委託作業費	315	318	-3	-0.7%	
租税課金	211	211	0	0.4%	
需要開発費	93	93	0	0.1%	
その他	167	169	-2	-3.4%	

フレキ管不具合対策(引当含む) 他

個別 主要決算数値(12年度 対 7/31見通し)
第2四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前回7/31	増減	
お客さま件数	10,602	10,612	-10	-0.1%
新設件数	89	85	4	4.9%

ガス販売量内訳

百万m3

	今期	前回7/31	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	144.8	145.8	-1.0	-0.7%	気温影響-0.7m3(-0.5%)、その他増減-0.3m3(-0.2%)	
家庭用	1,293	1,302	-9	-0.7%	気温影響-6百万m3(-0.5%)、その他増減-3百万m3(-0.2%)	
業務用	商業用	873	867	6	0.6%	
	その他用	437	447	-10	-2.1%	
	業務用計	1,310	1,314	-4	-0.3%	気温影響+16百万m3(+1.2%)、その他増減-20百万m3(-1.5%)
工業用	発電専用	1,312	1,264	48	3.8%	
	発電専用以外	1,490	1,514	-24	-1.6%	
	工業用計	2,802	2,778	24	0.9%	新規需要増 他
計	4,112	4,092	20	0.5%		
卸供給	1,026	1,039	-13	-1.2%	気温影響-4百万m3(-0.4%)、卸先需要家の既存物件稼働減-9百万m3(-0.8%)	
合計	6,431	6,433	-2	0.0%	気温影響+6百万m3(+0.1%)、発電専用+48百万m3(+0.7%)、 工業用(発電専用以外)-24百万m3(-0.4%)、 卸供給(気温影響除き)-9百万m3(-0.1%)、その他-23百万m3(-0.3%)	
(内大口供給)	3,416	3,401	15	0.4%		

見通し編

個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

経済フレーム

	今回10/30見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	113.97	110.00	111.99	\$/bbl
為替レート	79.41	80.00	79.71	円/\$
	前回7/31見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	111.29	100.00	105.64	\$/bbl
為替レート	80.09	80.00	80.05	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	2.68	10.00	6.35	\$/bbl
為替レート	-0.68	0.00	-0.34	円/\$

原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度

	1\$/bbl	3Q	4Q	年度
売上高		-5	-1	-6
原料		-13	-3	-16
粗利		8	2	10

※油価が1\$下がった場合の収支影響額

	1円/\$	3Q	4Q	年度
売上高		-21	-5	-26
原料		-20	-18	-38
粗利		-1	13	12

※為替が1円円高になった場合の収支影響額

連結 主要決算数値(今回見通し 対 7/31見通し)

通期見通し

億円

	今回 (10/30)	前回 (7/31)	増減		備考	
売上高	18,900	18,440	460	2.5%	都市ガス売上高+251(原料費調整制度に伴う売上単価増他)、その他エネルギー+183(電力+118他)	
営業利益	1,520	1,400	120	8.6%	都市ガス利益+25、その他エネルギー+56(電力+50他)	
経常利益	1,540	1,380	160	11.6%	為替差損益増他	
当期純利益	990	880	110	12.5%	特別損益-20(関係会社株式売却益-6、投資有価証券評価損-8)	
総資産	19,470	19,290	180	0.9%		
自己資本	9,080	9,020	60	0.7%	利益剰余金増+110(当期純利益増加)	
自己資本比率 (%)	46.6	46.8	-0.2	-		
総資本回転率 (回転)	0.99	0.97	0.02	-	売上高増(+2.5%)により上昇	
ROA(*2) (%)	5.2	4.6	0.6	-	当期純利益増(+12.5%)により上昇	
ROE(*2) (%)	11.3	10.1	1.2	-	当期純利益増(+12.5%)により上昇	
有利子負債残高	6,480	6,380	100	1.6%	東京ガス+100	
D/Eレシオ	0.71	0.71	-	-		
	当期純利益	990	880	110	12.5%	
	減価償却(*3・4)	1,390	1,400	-10	-0.7%	
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,380	2,280	100	4.4%		
設備投資(*3)	1,900	1,910	-10	-0.5%		
TEP	612	509	103	20.2%	経常利益増(+11.6%)により増加	
(WACC)	3.1%	3.1%	-	-		
1株当たり当期純利益 (円/株)	38.48	34.20	4.28	12.5%	当期純利益増(+12.5%)により上昇	
1株当たり純資産 (円/株)	353.05	350.71	2.34	0.7%	自己資本増により上昇	
総分配性向(*5)	(*6) -	-	-	-		

(*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(*5)n年度総分配性向 = ((n年度の年間配当金総額)+(n+1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)

(*6)2020年度に至るまで各年度6割程度とします

個別 主要決算数値(今回見通し 対 7/31見通し)

通期見通し

	億円			
	今回	前回7/31	増減	
総売上高	16,700	16,310	390	2.4%
営業利益	1,160	1,110	50	4.5%
経常利益	1,270	1,220	50	4.1%
当期純利益	840	810	30	3.7%

料金スライドの収支への影響

	今回	前回7/31	増減
料金によるスライド回収	257	91	166
原料費の増加分	167	-20	187
差し引き	90	111	-21

経済フレーム

	今回	前回7/31	増減
原油価格	111.99	105.64	6.35
為替レート	79.71	80.05	-0.34

\$/bbl
円/\$

金額は基準価格に対する増減額

	億円				
	今回	前回7/31	増減		
製品売上高(ガス売上高)	12,860	12,660	200	1.6%	
営業費用	原材料費	7,614	7,402	212	2.9%
	(粗利)	(5,246)	(5,258)	(-12)	(-0.2%)
	諸給与	978	978	0	0.0%
	諸経費	2,396	2,396	0	0.0%
	減価償却費	1,030	1,033	-3	-0.3%
	LNG受託加工費	-50	-47	-3	-
計	11,968	11,762	206	1.8%	
受注工事収支	1	0	1	-	
器具販売等収支	87	65	22	33.8%	
営業雑収支	88	65	23	35.4%	
附帯事業収支	180	147	33	22.4%	
営業利益	1,160	1,110	50	4.5%	
営業外収支	110	110	0	0.0%	
経常利益	1,270	1,220	50	4.1%	
特別利益	0	0	0	-	
特別損失	51	38	13	34.6%	
法人税等	379	372	7	1.9%	
当期純利益	840	810	30	3.7%	

数量・料金構成差+18億円、単価差+182億円

数量・原料構成差+16億円、単価差+196億円(為替影響=-29、油価影響=+213)

数量・構成差+2億円、単価差-14億円

詳細は下記参照

設備取得時期遅れに伴う償却費減他-3億円

器具収支 GHP増+9億円 他

電力販売+31億円、LPG販売+1億円、LNG販売-2億円 他

投資有価証券評価損+8億円、固定資産減損損失+5億円 他

諸経費

	億円			
	今回	前回7/31	増減	
修繕費	356	352	4	1.1%
消耗品費	143	143	0	0.0%
賃借料	181	182	-1	-0.5%
委託作業費	647	647	0	0.0%
租税課金	440	440	0	0.0%
需要開発費	246	246	0	0.0%
その他	383	386	-3	-0.8%

フレキシ管不具合対策(引当含む) 他

個別 主要決算数値(今回見通し 対 7/31見通し)
通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前回7/31	増減	
お客さま件数	10,680	10,679	1	0.0%
新設件数	200	186	14	7.8%

ガス販売量内訳

百万m3

		今回	前回7/31	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		377.4	378.3	-0.9	-0.2%	気温影響-0.9m3(-0.2%)
家庭用		3,380	3,385	-5	-0.1%	気温影響-6百万m3(-0.2%)、件数差異+1百万m3(+0.1%)
業務用	商業用	1,761	1,734	27	1.6%	
	その他用	894	890	4	0.4%	
業務用計		2,655	2,624	31	1.2%	気温影響+16百万m3(+0.6%)、その他増減+15百万m3(+0.6%)
工業用	発電専用	2,680	2,605	75	2.9%	
	発電専用以外	3,080	3,143	-63	-2.0%	
工業用計		5,760	5,748	12	0.2%	新規需要増 他
計		8,415	8,372	43	0.5%	
卸供給		2,175	2,190	-15	-0.7%	気温影響-4百万m3(-0.2%)、卸先需要家の既存物件稼働減-11百万m3(-0.5%)
合計		13,971	13,947	24	0.2%	気温影響+6百万m3(+0.1%)、発電専用+75百万m3(+0.5%)、工業用(発電専用以外)-63百万m3(-0.5%)、卸供給(気温影響除き)-11百万m3(-0.1%)、その他+17百万m3(+0.2%)
(内大口供給)		6,967	6,953	14	0.2%	

個別 主要決算数値(今回見通し 対 11年度)

通期見通し

	億円			
	今回	前期	増減	
総売上高	16,700	15,503	1,197	7.7%
営業利益	1,160	514	646	125.7%
経常利益	1,270	599	671	111.9%
当期純利益	840	357	483	135.3%

料金スライドの収支への影響

	今回	前期	増減
料金によるスライド回収	257	-432	689
原料費の増加分	167	41	126
差し引き	90	-473	563

経済フレーム

	今回	前期	増減
原油価格	111.99	114.17	-2.18 \$/bbl
為替レート	79.71	79.08	0.63 円/\$

金額は基準価格に対する増減額

	億円				
	今回	前期	増減		
製品売上高(ガス売上高)	12,860	12,165	695	5.7%	
営業費用	原材料費	7,614	7,402	212	2.9%
	(粗利)	(5,246)	(4,763)	(483)	(10.1%)
	諸給与	978	984	-6	-0.7%
	諸経費	2,396	2,390	6	0.2%
	減価償却費	1,030	1,083	-53	-4.9%
	LNG受託加工費	-50	-46	-4	-
計	11,968	11,814	154	1.3%	
受注工事収支	1	0	1	-	
器具販売等収支	87	82	5	5.9%	
営業雑収支	88	82	6	7.1%	
附帯事業収支	180	81	99	121.0%	
営業利益	1,160	514	646	125.7%	
営業外収支	110	85	25	28.8%	
経常利益	1,270	599	671	111.9%	
特別利益	0	29	-29	-	
特別損失	51	30	21	70.6%	
法人税等	379	241	138	56.7%	
当期純利益	840	357	483	135.3%	

数量・料金構成差+113億円、単価差+582億円(うち料金改定-102億円)

数量・原料構成差+69億円、単価差+143億円(為替影響=+55、油価影響=+177)

数量・構成差+44億円、単価差+439億円

給料減(人員減・単価減)他

詳細は下記参照

平成19年度税制改正影響-102億円、本支管・製造設備他新規取得に伴う償却費増+49億円

器具収支 GHP増+6億円 他

電力販売+65億円、LNG販売+26億円、LPG販売+2億円 他

関係会社受取配当増+44億円(今回112、前期68)、期日前返済精算金減▲24億円 他

前期:固定資産売却益29億円 他

今回:投資有価証券評価損46億円、固定資産減損損失5億円 他 前期:固定資産圧縮損28億円 他

	億円			
	今回	前期	増減	
修繕費	356	374	-18	-5.1%
消耗品費	143	142	1	0.5%
賃借料	181	176	5	2.7%
委託作業費	647	638	9	1.4%
租税課金	440	423	17	3.8%
需要開発費	246	250	-4	-1.8%
その他	383	387	-4	-3.0%

ガス栓対策(引当含む)24億円→11億円

建物・施設賃借料+5億円 他

システム関係委託費+10億円 他

事業税+14億円 他

家庭用営業費-14億円、大口用営業費+9億円 他

個別 主要決算数値(今回見通し 対 11年度)

通期見通し

お客さま件数

千件

	今回	前期	増減	
お客さま件数	10,680	10,557	123	1.2%
新設件数	200	192	8	4.4%

ガス販売量内訳

百万m3

		今回	前期	増減		
家庭用1件当たり販売量(m3)		377.4	387.2	-9.8	-2.5%	気温影響-9.5m3(-2.4%)、日数差異-2.5m3(-0.6%)、その他増減+2.2m3(+0.6%)
家庭用		3,380	3,429	-49	-1.4%	気温影響-82百万m3(-2.4%)、日数差異-22百万m3(-0.6%)、件数差異+36百万m3(+1.0%)、その他増減+19百万m3(+0.6%)
業務用	商業用	1,761	1,753	8	0.4%	
	その他用	894	919	-25	-2.7%	
業務用計		2,655	2,672	-17	-0.6%	気温影響-54百万m3(-2.0%)、その他増減+37百万m3(+1.4%)
工業用	発電専用	2,680	2,391	290	12.1%	
	発電専用以外	3,080	3,056	24	0.8%	
工業用計		5,760	5,446	314	5.8%	新規需要増 他
計		8,415	8,118	297	3.7%	
卸供給		2,175	2,212	-37	-1.6%	気温影響-10百万m3(-0.5%)、卸先需要家の既存物件稼働減-27百万m3(-1.1%)
合計		13,971	13,759	212	1.5%	気温影響-146百万m3(-1.1%)、発電専用+290百万m3(+2.1%)、工業用(発電専用以外)+24百万m3(+0.2%)、卸供給(気温影響除き)-27百万m3(-0.2%)、その他+71百万m3(+0.5%)
(内大口供給)		6,967	6,668	299	4.5%	

連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

営業キャッシュフロー

実績（今期中間 対 前期中間） 億円

	今期	前年同期	増減	
当期純利益	399	-49	448	-
減価償却	671	722	-51	-7.1%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,071	672	399	59.2%

個別実績（今期中間 対 前期中間） 億円

	今期	前年同期	増減	
当期純利益	374	-62	436	-
減価償却	515	546	-31	-5.7%
営業CF(当期純利益+減価償却)	889	484	405	83.7%

見通し（今回通期 対 前期） 億円

	今回10/30	前期	増減	
当期純利益	990	460	530	114.9%
減価償却	1,390	1,485	-95	-6.4%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,380	1,945	435	22.3%

個別見通し（今回通期 対 前期） 億円

	今回10/30	前期	増減	
当期純利益	840	357	483	135.3%
減価償却	1,069	1,125	-56	-5.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,909	1,482	427	28.8%

* 減価償却には長期前払費用償却を含む

設備投資内訳

実績（今期中間 対 前期中間） 億円

	実績	前年同期	増減		
東京ガス	製造設備	86	53	33	60.1%
	供給設備	334	303	31	10.4%
	業務設備他	49	70	-21	-29.9%
	計	470	427	43	10.1%
連結子会社設備投資(連結相殺含む)	285	158	127	80.4%	
合計	755	585	170	29.0%	

製造設備 : 日立LNG基地関連他+33億円
 供給設備 : 需要開発関連+25億円、安定供給関連他+6億円
 業務設備他 : その他業務設備他-21億円

(今回通期見通し 対 前期) 億円

	今回10/30	前期	増減		
東京ガス	製造設備	264	187	77	40.8%
	供給設備	899	744	155	20.8%
	業務設備他	205	207	-2	-0.9%
	計	1,369	1,139	230	20.2%
連結子会社設備投資(連結相殺含む)	531	325	206	63.4%	
合計	1,900	1,464	436	29.8%	

製造設備 : 日立LNG基地関連他+77億円
 供給設備 : 需要開発関連他+53億円、安定供給関連+102億円
 業務設備他 : その他業務設備他-2億円

東京ガス株式会社

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた
東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうること
をご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格
の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガ
スの対応等があります。